

図7.

疾患ごとの分布

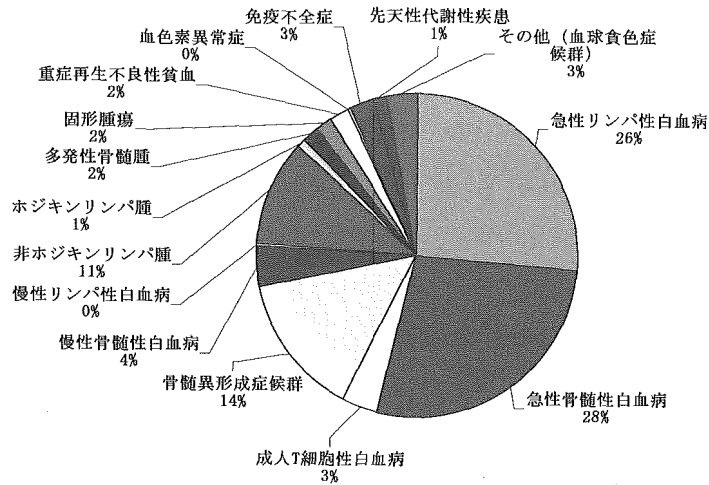


図8.

細胞数および HLAと 生着・無病生存率

図9.

全症例

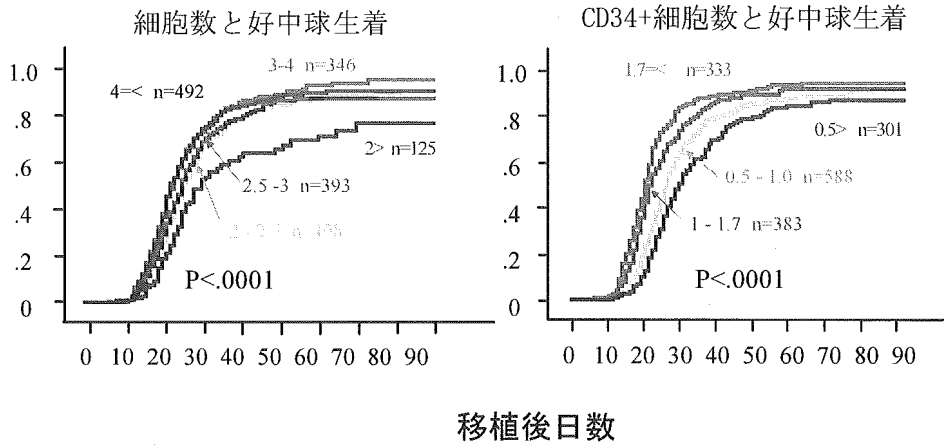


図10.

全症例

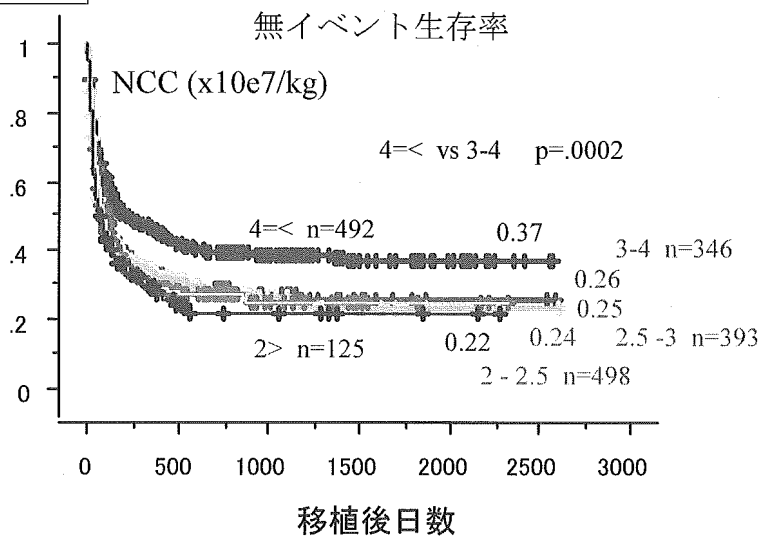


図11.

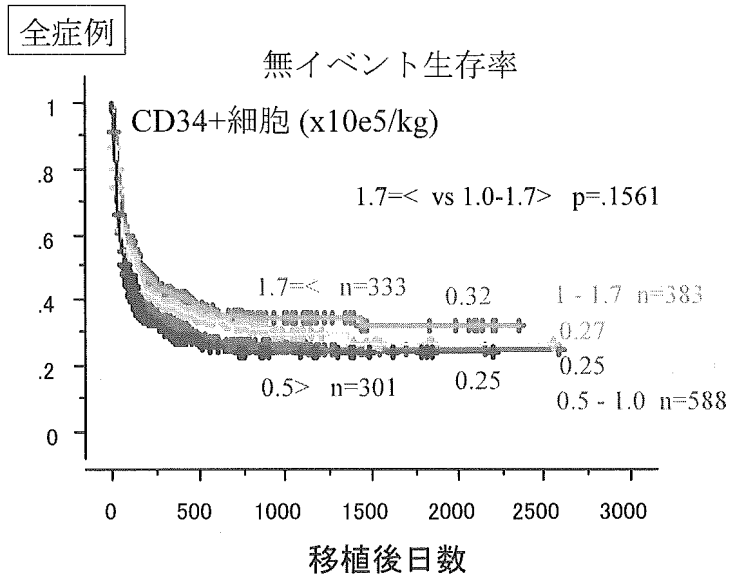


図12.

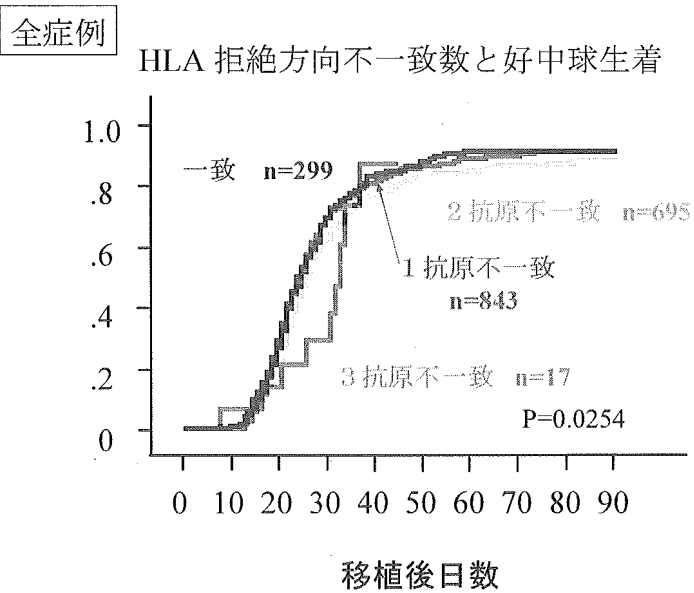


図13.

全症例

無イベント生存率

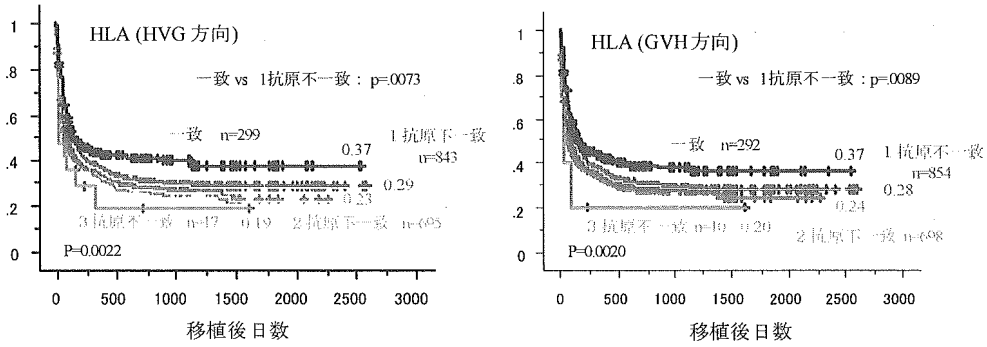


図14.

小児例

無イベント生存率

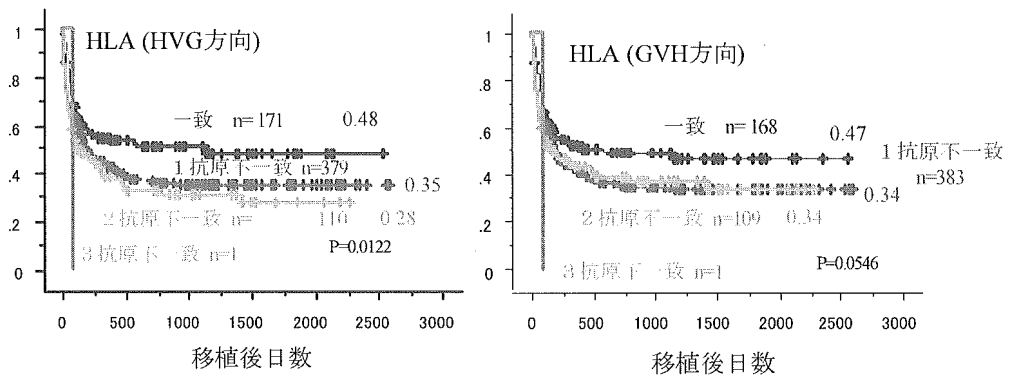


図15.

成人例

無イベント生存率

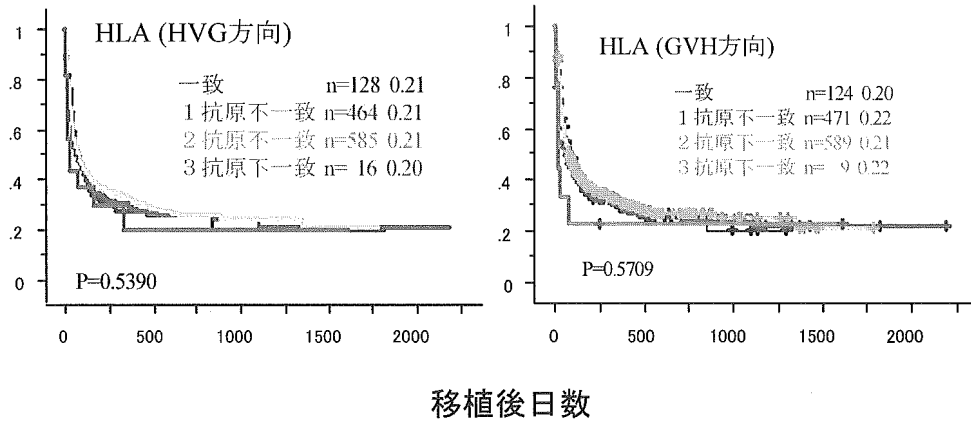


図16.

全症例

腫瘍性疾患と非腫瘍性疾患

無イベント生存率

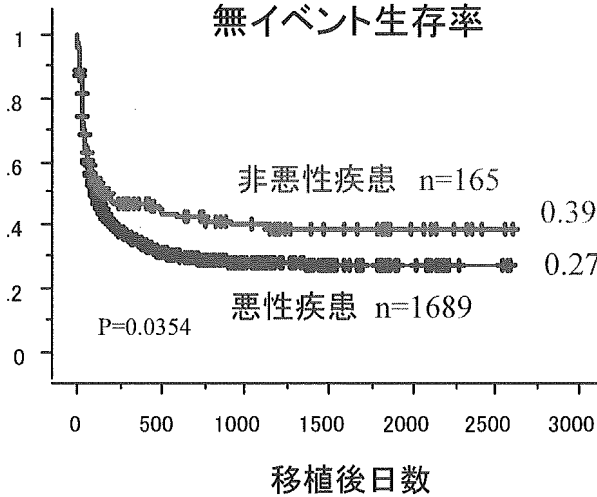


図17.

非腫瘍性疾患

無イベント生存率

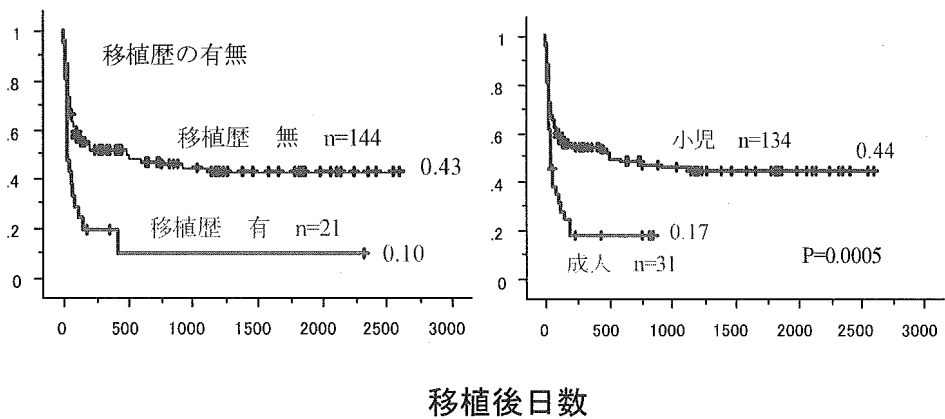


図18.

非腫瘍性疾患

疾患ごとの無イベント生存率

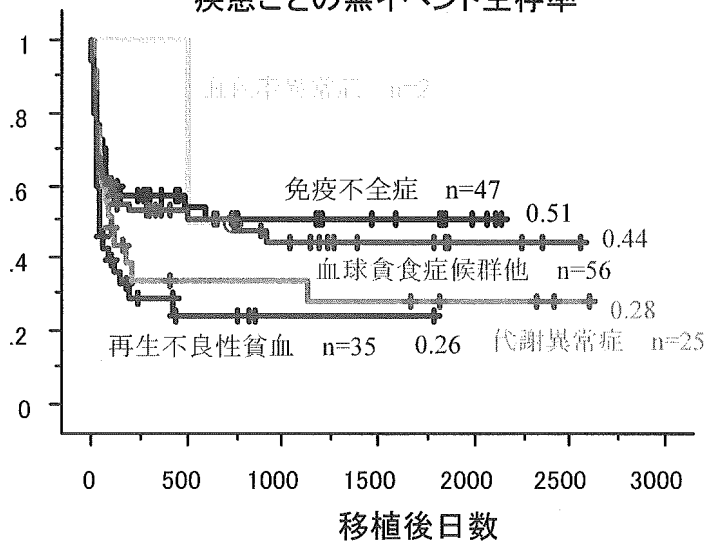


図19.

急性白血病

無イベント生存率

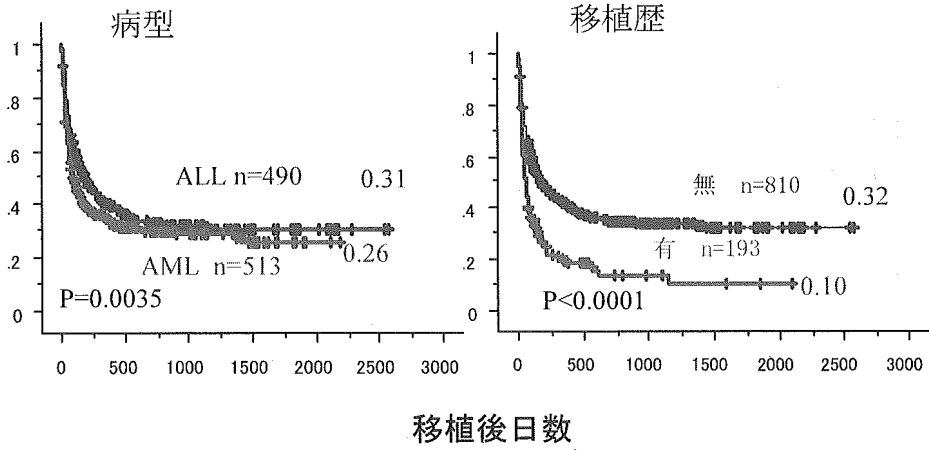


図20.

急性白血病

無イベント生存率

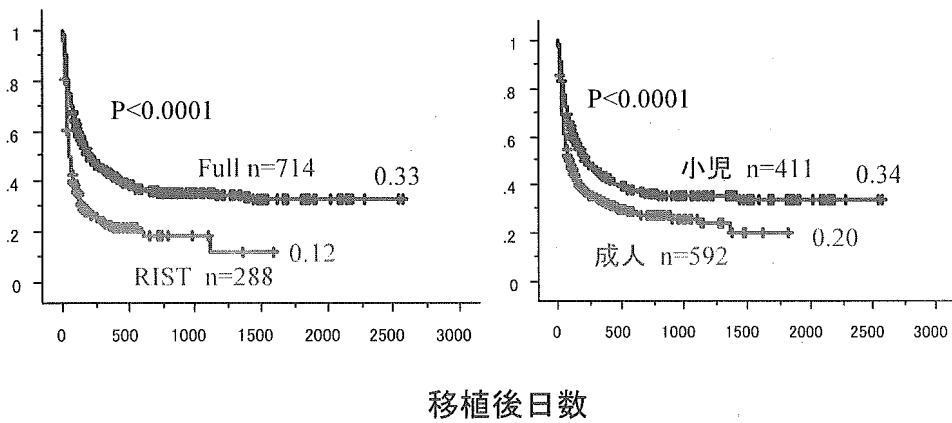


図21.

腫瘍性疾患
(急性白血病以外)

無イベント生存率

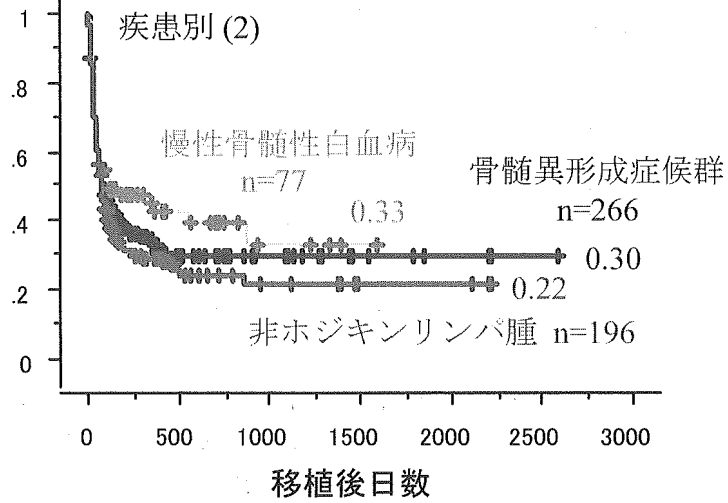


図22.

腫瘍性疾患
(急性白血病以外)

無イベント生存率

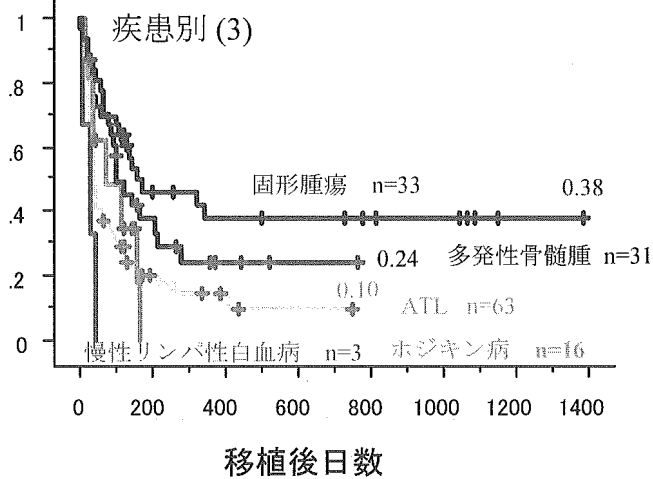


図23.

小児急性白血病
(初回移植例)

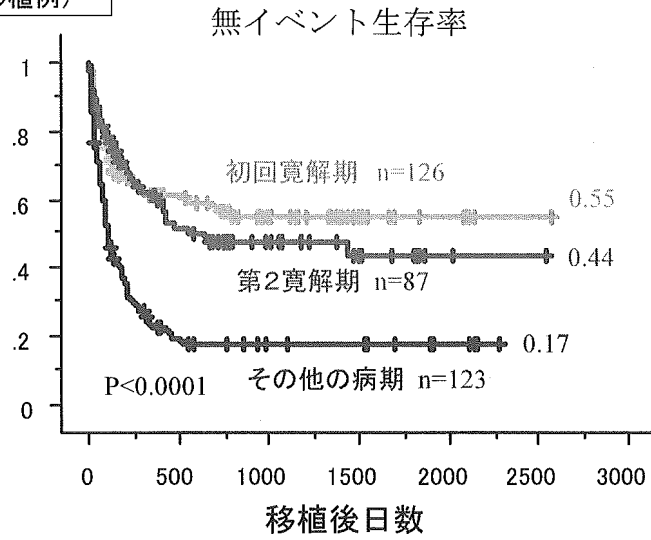


図24.

成人急性白血病
(初回移植例)

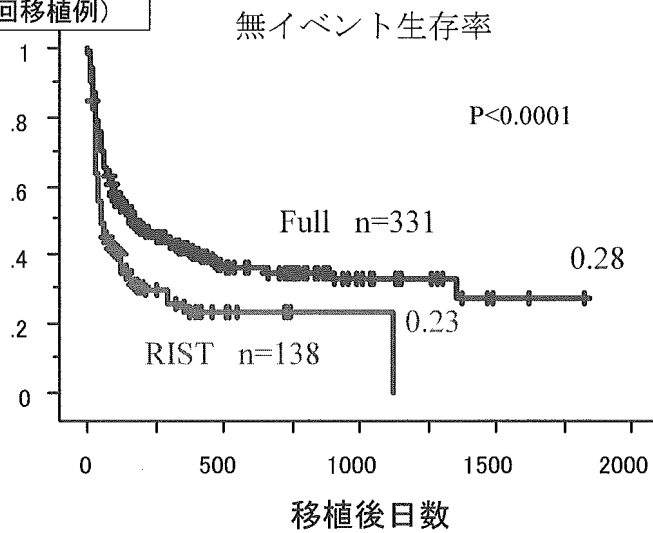


図25.

成人急性白血病
(初回移植例)

移植病期と
無イベント生存率

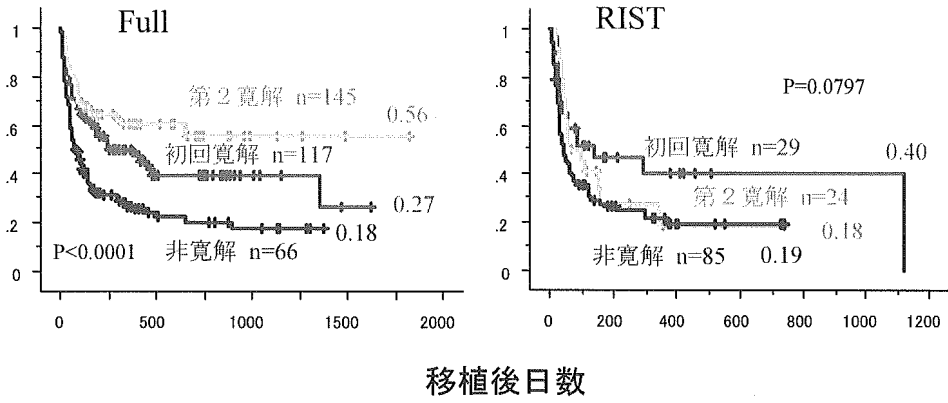


図26.

骨髄異形成症候群(成人)

無イベント生存率

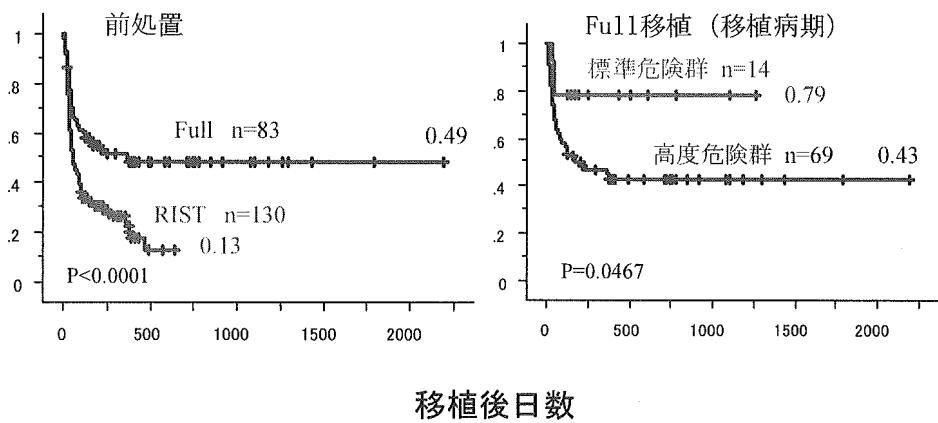


図27.

慢性骨髄性白血病(成人)

無イベント生存率

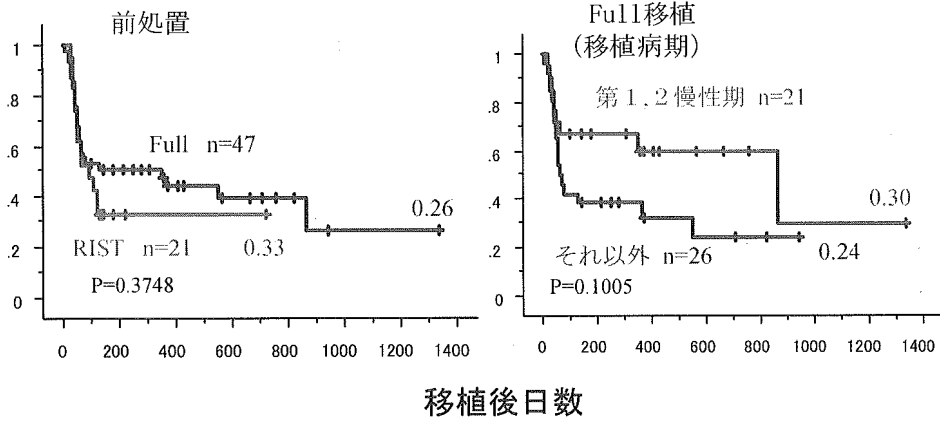


図28.

非ホジキンリンパ腫(成人)

無イベント生存率

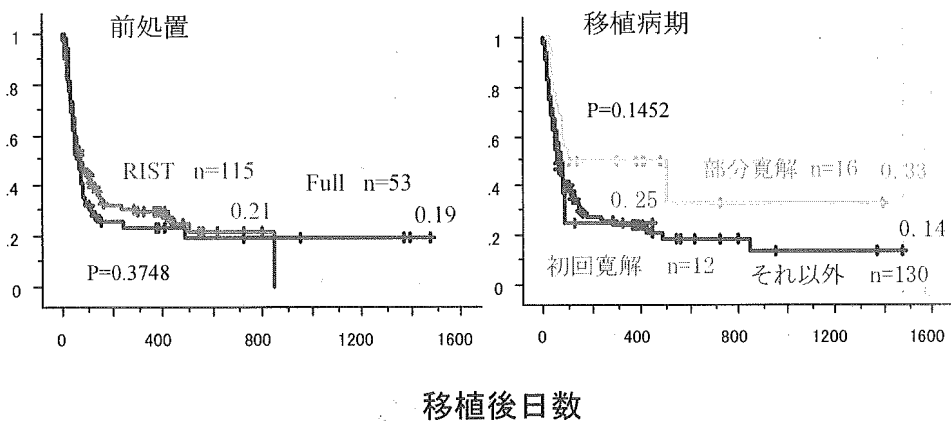


図29.

まとめ

- 1997～2005年に実施された1860例の移植成績を解析
小児 (<16歳) 663例、成人 (≥16歳) 1197例
- 成人での移植数、特にミニ移植数が急速に増加
- 細胞数 $2 \times 10^7/\text{kg}$ 未満の症例の生着率は有意に低い。
ネットワークの提供基準 (細胞数) は妥当である
- 有核細胞数 $\geq 4 \times 10^7/\text{kg}$ では無イベント生存率が有意に高い
- CD34細胞数が多いほど無イベント生存率が高い傾向がある
- HLA一致移植例は不一致例に比べ有意に無イベント生存率が高い (成人では有意差は認められない)
- 移植病期と無イベント生存率は有意に相関する
小児白血病、成人白血病フル移植例